

医薬品需要予測サービス  
AIでユニケ

㈱ユニケソフトウェアリサーチは12月10日に、AIを活用した保険薬局のための医薬品需要予測サービスを、電子薬歴レセコン一体型システム「P-CUBE n」「P-CUBE i」のオプション製品としてリリースした。

保険薬局のレセプトコンピュータで入力した調剤実績や在庫実績のデータをクラウドで処理することにより、薬局内のコンピュータリングだけでは実現の難しかったAIによる医薬品の需要予測を実現し、医薬品の発注業務において、最適な発注品目・数量を提案することで、大幅な在庫金額や業務時間の圧縮、欠品による機会損失の防止などの効果が期待できる。

AI医薬品需要予測は、簡単な発注条件の選択のみでAIが学習した調剤データをもとに需要予測を行い、最適な発注候補を提案する。

従来では薬品ごとに発注点を設定して発注する場合があったが、一品ごとに適切な発注点を設定することは難しく、季節性への対応も難しいことから、在庫金額は増えがちだった。

一方、AI医薬品需要予測においては、季節変動や患者の来局動向などをAIが学習することによって、発注点の設定は不要となる。

